



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9069 URL https://www.senkogrouphd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 小久保 悟 TEL 06-6440-5156  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	427,741	6.8	17,177	8.8	17,233	7.3	10,879	13.9
2019年3月期第3四半期	400,565	7.4	15,794	18.3	16,065	19.3	9,552	28.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 11,412百万円 (20.0%) 2019年3月期第3四半期 9,510百万円 (△10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	71.61	66.42
2019年3月期第3四半期	62.88	58.32

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	358,287	134,906	35.2	829.66
2019年3月期	340,491	126,895	35.0	785.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 126,078百万円 2019年3月期 119,204百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2020年3月期	-	13.00	-	-	-
2020年3月期（予想）	-	-	-	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	5.7	20,900	6.5	21,000	5.7	12,200	4.4	80.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	152,861,921株	2019年3月期	152,861,921株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	897,936株	2019年3月期	1,024,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	151,927,827株	2019年3月期3Q	151,918,117株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式（2020年3月期3Q 348,880株、2019年3月期 351,500株）及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式（2020年3月期3Q 352,988株、2019年3月期 353,000株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日 以下「当第3四半期」)における日本経済は、消費増税前の駆け込みと増税後の反動、世界経済の減速傾向などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当第3四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	400,565	427,741	27,175	6.8%
営業利益	15,794	17,177	1,383	8.8%
経常利益	16,065	17,233	1,167	7.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,552	10,879	1,327	13.9%

当第3四半期の連結営業収益は、拡販や料金改定の効果、物流センターの開設効果、海外のグループ会社及びライフサポート事業会社を連結子会社化したことなどにより、4,277億41百万円と対前年同期比271億75百万円の増収となりました。

利益面におきましては、外注費の上昇などのコストアップがありましたが、先に述べた増収効果、生産性向上の取り組みなどにより、連結営業利益は、171億77百万円と対前年同期比13億83百万円の増益、連結経常利益は、172億33百万円と対前年同期比11億67百万円の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、108億79百万円と対前年同期比13億27百万円の増益となりました。

当第3四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	283,706	297,850	14,143	5.0%
セグメント利益	13,159	14,867	1,708	13.0%

前年度に開設した物流センター並びに、センコー株式会社が当年度5月に稼働させた「印西ロジスティクスセンター」、10月に稼働させた「大分PDセンター」及び株式会社ランテックが7月に稼働させた「関西支店センター」の開設効果、拡販や料金改定の効果、海外のグループ会社7社を連結子会社化したことなどにより、営業収益は2,978億50百万円と対前年同期比141億43百万円の増収、セグメント利益は148億67百万円と対前年同期比17億8百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	108,094	117,974	9,879	9.1%
セグメント利益	1,807	1,583	△224	△12.4%

大手量販店グループ向け家庭紙の拡販などがありましたが、外注費の上昇などのコストアップがあり、営業収益は1,179億74百万円と対前年同期比98億79百万円の増収、セグメント利益は15億83百万円と対前年同期比2億24百万円の減益となりました。

(その他事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	8,764	11,916	3,152	36.0%
セグメント利益	1,132	1,247	115	10.2%

飲食事業を展開する株式会社ライフイトを連結子会社化したこと、介護・フィットネス店舗の新規出店などにより、営業収益は119億16百万円と対前年同期比31億52百万円の増収、セグメント利益は12億47百万円と対前年同期比1億15百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期末における総資産は、3,582億87百万円となり、前期末に比べ177億95百万円増加いたしました。

流動資産は、1,285億20百万円となり、前期末に比べ112億57百万円増加いたしました。これは受取手形及び営業未収入金が72億76百万円、商品及び製品が14億29百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、2,297億53百万円となり、前期末に比べ65億58百万円増加いたしました。これは、投資その他の資産が18億97百万円減少したものの、有形固定資産が72億18百万円、無形固定資産が12億37百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期末における負債合計は、2,233億80百万円となり、前期末に比べ97億84百万円増加いたしました。

流動負債は、1,137億95百万円となり、前期末に比べ151億25百万円増加いたしました。これは、未払法人税等が29億16百万円、賞与引当金が18億46百万円減少したものの、支払手形及び営業未払金が70億43百万円、短期借入金が98億8百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、1,095億85百万円となり、前期末に比べ53億41百万円減少いたしました。これは、長期リース債務が23億94百万円増加したものの、長期借入金が78億87百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期末の純資産は、1,349億6百万円となり、前期末に比べ80億11百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が67億40百万円、非支配株主持分が11億30百万円増加したことなどによるものであります。自己資本比率は前期末から0.2ポイント上昇し、35.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,232	24,632
受取手形及び営業未収入金	71,311	78,587
電子記録債権	1,785	2,446
商品及び製品	8,513	9,942
仕掛品	670	1,121
原材料及び貯蔵品	583	743
その他	9,181	11,075
貸倒引当金	△14	△28
流動資産合計	117,263	128,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,645	65,557
土地	59,669	60,663
その他(純額)	37,899	43,212
有形固定資産合計	162,214	169,432
無形固定資産		
のれん	7,446	7,903
その他	4,576	5,356
無形固定資産合計	12,022	13,260
投資その他の資産		
投資有価証券	20,260	18,703
長期貸付金	3,888	3,544
退職給付に係る資産	3,088	3,540
差入保証金	13,271	13,995
繰延税金資産	5,138	3,924
その他	4,019	3,976
貸倒引当金	△709	△624
投資その他の資産合計	48,958	47,060
固定資産合計	223,195	229,753
繰延資産		
開業費	32	12
繰延資産合計	32	12
資産合計	340,491	358,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	37,603	44,646
電子記録債務	7,047	7,327
1年内償還予定の社債	48	48
短期借入金	21,580	31,389
リース債務	3,181	3,570
未払法人税等	4,242	1,325
賞与引当金	5,253	3,406
役員賞与引当金	347	256
災害損失引当金	103	—
その他	19,261	21,823
流動負債合計	98,669	113,795
固定負債		
社債	17,120	17,072
転換社債型新株予約権付社債	10,029	10,022
長期借入金	64,696	56,808
リース債務	10,500	12,895
役員退職慰労引当金	180	193
特別修繕引当金	80	94
株式給付引当金	124	157
退職給付に係る負債	6,970	6,379
資産除去債務	1,011	1,152
その他	4,212	4,808
固定負債合計	114,926	109,585
負債合計	213,595	223,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,528	26,528
資本剰余金	29,841	29,765
利益剰余金	62,983	69,724
自己株式	△697	△651
株主資本合計	118,656	125,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,350	1,395
繰延ヘッジ損益	△3	12
為替換算調整勘定	122	49
退職給付に係る調整累計額	△920	△745
その他の包括利益累計額合計	548	711
新株予約権	424	432
非支配株主持分	7,265	8,396
純資産合計	126,895	134,906
負債純資産合計	340,491	358,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	400,565	427,741
営業原価	355,840	376,481
営業総利益	44,725	51,259
販売費及び一般管理費	28,931	34,081
営業利益	15,794	17,177
営業外収益		
受取利息	94	82
受取配当金	142	140
その他	1,394	1,298
営業外収益合計	1,631	1,521
営業外費用		
支払利息	834	820
その他	526	644
営業外費用合計	1,360	1,465
経常利益	16,065	17,233
特別利益		
受取保険金	—	144
抱合せ株式消滅差益	—	51
退職給付制度終了益	—	46
固定資産売却益	346	42
補助金収入	1,268	—
投資有価証券売却益	178	—
関係会社清算益	79	—
関係会社貸倒引当金戻入額	43	—
特別利益合計	1,916	284
特別損失		
減損損失	—	121
子会社清算損	—	111
固定資産除却損	86	96
関係会社貸倒引当金繰入額	—	79
訴訟和解金	—	55
関係会社株式評価損	585	49
固定資産圧縮損	1,256	—
災害損失引当金繰入額	204	—
子会社整理損	168	—
事務所撤退損	133	—
災害による損失	31	—
特別損失合計	2,468	515
税金等調整前四半期純利益	15,514	17,002
法人税、住民税及び事業税	4,650	4,568
法人税等調整額	976	1,186
法人税等合計	5,627	5,755
四半期純利益	9,886	11,247
非支配株主に帰属する四半期純利益	334	368
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,552	10,879



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	9,886	11,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△548	52
繰延ヘッジ損益	35	17
為替換算調整勘定	△148	△79
退職給付に係る調整額	285	174
その他の包括利益合計	△376	165
四半期包括利益	9,510	11,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,221	10,998
非支配株主に係る四半期包括利益	288	414

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(主として10年)で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として9年に変更しております。

この変更に伴い、従来、費用処理年数によった場合と比較し、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ110百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	283,706	108,094	8,764	400,565	—	400,565
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,975	9,067	7,173	18,215	△18,215	—
計	285,681	117,161	15,937	418,781	△18,215	400,565
セグメント利益	13,159	1,807	1,132	16,099	△305	15,794

(注) 1. セグメント利益の調整額△305百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	297,850	117,974	11,916	427,741	—	427,741
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,945	9,212	6,988	18,147	△18,147	—
計	299,795	127,187	18,905	445,888	△18,147	427,741
セグメント利益	14,867	1,583	1,247	17,698	△521	17,177

(注) 1. セグメント利益の調整額△521百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。